



受賞した狩野和紀さんと妻の郁江さん

狩野和紀さんに農林水産大臣賞

群馬県こんにやく研究会が主催する第45回群馬県こんにやく立毛共進会において、狩野和紀さん（永井上）が優秀賞の農林水産大臣賞を受賞しました。

この賞は、こんにやくの生育状況・収量・発育状況などの栽培技術を評価するもの。狩野さんは、こんにやくの栽培にあたり、トウモロコシとの輪作により根腐病を抑制し、県下トップレベルの高い反収をあげたことが高く評価され、同共進会の各支部より推薦された22人の中か

ら、農林水産大臣賞に輝きました。

狩野さんは「最高賞をいただいたことを嬉しく思う一方で、賞の重みも感じています。今後も良い品質のこんにやくを作っていきたいと思います」と受賞の喜びと今後の抱負を語っていました。

なお、同共進会において、堤隆志さん（森下中）に群馬県知事賞、林洋平さん（生越）に群馬県議会議長賞、倉澤貴幸さん（宮貝戸）に群馬県蒟蒻原料商工業協同組合理事長賞がそれぞれ贈られました。

岡田さん

板橋さんに感謝状

群馬県交通大会が1月23日に伊勢崎市境総合文化センターで開催され、村交通指導員・隊長の岡田勝哉（追分）さんと、同副隊長の板橋和登さん（入原上）に、大澤正明群馬県知事から優良交通指導員表彰の部の感謝状が贈られました。

これは、岡田さんと板橋さんが多年にわたり、交通指導員として、学童や園児の交通安全指導と地域の交通安全活動に尽力し、交通事故防止に寄与されたことから贈られたものです。

生涯学習大会で鈴木明子さんが講演

第24回生涯学習大会が2月16日、公民館多目的ホールで開催されました。

第1部では、村内各校を代表し南小学校の石澤みゆうさん、板橋のどかさん、堤ひまりさんが、いじめ防止のために取り組み組んできた活動について発表しました。

第2部の人権講演会では、現在プロフィギュアスケーターとして活躍する鈴木明子さんが講演。鈴木さんは、家族や周りの人々の支えを得て摂食障害を乗り越え、選手生活を全うした経験を説明。



講演する鈴木明子さん



活動を発表した南小児童



感謝状を贈られた岡田さん（左）と板橋さん

認知症サポーター養成講座開講

認知症サポーター養成講座が2月22日、地域活性化センターで行われました。

この講座は、村地域包括支援センターと村社会福祉協議会が主催し、村で、ふれあい・いきいきサロンを運営する、き



認知症サポーターとしてオレンジリングを掲げる参加者



認知症について寸劇で説明

ずなサポーター会議の中で行われたもの。講座では、同支援センターで認知症地域支援推進員の中島菜月さんが『人間杖』になろう!と題して講演したほか、寸劇も行いながら認知症の症状や、患者との接し方を学びました。講座に出席した60歳から80歳代のきずなサポーター約70人に、認知症サポーターの証としてオレンジリングが贈られました。また、これにより村内32か所のサロンが「認知症の人とその家族にもやさしいサロン」に登録されました。

災害ボランティア

養成講座開催

村社会福祉協議会(金子松二郎会長)は2月17日、「平成30年度災害ボランティア養成講座」やりましょう災害に強いむらづくり」を地域活性化センターで開きました。この講座は、災害でのボランティア活動に必要な知識や技術の習得を図り、災害に強いむらづくりを進めていくことが目的です。

当日は、村民や役場職員、村社会福祉協議会職員ら55名が参加。避難所運営ゲーム(HUG)の体験や炊き出し体験、防災工作体験等を行いました。



避難所運営ゲームを行う参加者

藤井さん、堤さんらに全国優秀賞

昭和中学校出身で、利根実業高校に通う藤井美羽さん(2年)と堤梨乃さん(1年)ら生物生産科の生徒10人が、2月10日に東京都で行われた「第4回全国ユース環境活動発表大会」で優秀賞に選ばれ、その受賞報告会が2月21日に同校で行われました。

藤井さん、堤さんらは「イノシシの色彩を利用した侵入防護研究と普及活動」と題した活動を発表。青色LEDライトと園芸用ポットを組み合わせた侵入防護実験や、青色スズランテープを利用した

侵入防護柵実験などに取り組みました。

また、これらの実験の成果を行政機関や農家への普及活動や、研究発表などの場で積極的に発表するなど、地域に根ざした活動を行ったことが高く評価されました。

藤井さんは「発表では緊張しましたが、先輩方のおかげで優秀賞を受賞できました。これからも研究に力を入れていきたいです」と語り、また、堤さんは「先輩方や同級生が努力してきた姿を見てきました。これからは活動を頑張っていきたいです」と意気込みを語りました。



優秀賞を受賞した藤井さん(右)と堤さん